「未登録ユーザ」の山口さんはブラックジャックにユーザ登録し、「登録済ユーザ」となった。そのまま山口さんは「掛け金」を100ptsに設定しゲームを開始した。ディーラー(システム)のアップカードはスぺ―ドの５で、山口さんの手札はダイヤの３とスペードのAであった。山口さんの手札の点数はまだ21点に届いていなかったため、山口さんは「ヒット」をし、スペードの６を引いた。山口さんは「もう一回ヒットすると手札の点数が21点を超えてしまう」と考え、そのまま「スタンド」をした。山口さんが「スタンド」をしたため、ターンがディーラーにまわり、ディーラーがもう一枚のカードを表にしたところスペードのQであった。ディーラーの手札の点数が18点未満であったため、ルールに基づきもう一枚カードを引いたところダイヤのQであった。この時、ディーラーの手札の点数が25となり、21点を超えてしまったためディーラーは「バースト」し、山口さんの勝利が決まり、掛け金の2倍である200ptsを得とくした。

山口さんはもう一回ゲームすることを決め、掛け金を前回と同じ100ptsに設定した。今度はアップカードがクラブのAで、山口さんの手札がハートのJ、スペードの５であった。この時、確率論的に自分の負けとなる可能性が高いことを知っていた山口さんは「サレンダー」をし、100ptsの半分である50ptsを変換してもらった。

山口さんは掛け金を200ptsに設定し、もう一度ゲームを開始した。

「未登録ユーザ」の山口さんは5月26日にブラックジャックにユーザ登録、「登録済ユーザ」となった。そのまま「掛け金」を1000円に設定し、ゲームを開始した。ディーラーのアップカードはスペードの６で、山口さんの手札はダイヤの３とスペードのAで、山口さんは「ヒット」をし、スペードの６を引いてそのまま「スタンド」した。ディーラーはスペードのQとダイヤのQを引いたので「バースト」し、山口さんが勝利した。

山口さんは「RETRY」を選び、「掛け金」を2000円に設定し、再びゲームを開始した。